

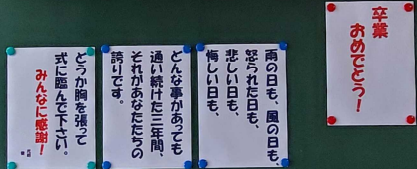


仙高の風

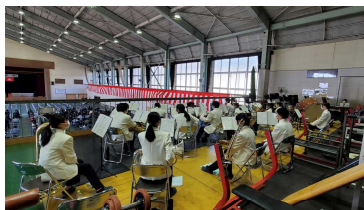
令和5年3月22日発行 第12号

卒業式前日

クラスの生徒に向けて担任がメッセージ 3年1組の教室黒板より



◆第75回卒業式挙行 おだやかな晴れの日となった3月1日、「卒業式」を挙行了。岩井誠校長からクラス代表の生徒に卒業証書を授与しました。厳粛な中にも温かい雰囲気のスバラしい式典となりました。岩井校長は式辞で次のように述べました。◆七十五回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、ご家族の皆さまにおかれましては、今日の日をお迎えになり、これまでの三年間のさまざまなご労苦を振り返るとともに、たくましく立派に成長したお子様の晴れ姿を目の当たりにし、感慨も一入のことと存じます。◆皆さんは世界的規模で流行した災厄により入学が二ヶ月遅れました。抗うことができない「大きな力」によって、本来続いていくはずのものがぶつ切りと断たれてしまったのです。思い描いていた高校での学習、学校行事、部活動、先輩後輩や友人たちとの交流、そういったものがなかなか思い通りにいかない悔しさ、悲しさ、いらだち…。落ち込んだことも一度や二度ではなかったはずですが、そういった苦境の中にあっても、皆さんはそこから逃げずに、むしろ丸ごと受け入れ、向き合う中で道を切り開いてきました。◆皆さんは常に時代の先端に立っています。どうか自信を持って堂々と胸を張って歩いて行ってください。そしてこれからも、その力強い足跡を残していってください。◆皆さんが仙台高校で育んだ力と、校歌にもある「大鵬の高き誇り」を胸に、不確かで混沌としているけれど、希望に満ちた未来に向けて力強く羽ばたいてください。これからも応援しています。(一部抜粋) ◆吹奏楽部が入退場、国歌、校歌を演奏し花を添えました。←開式前、体育館2階ギャラリーでスタンバイする吹奏楽部員(1・2年生)。



卒業式には各家庭から2名まで。父や母と一緒に登校する卒業生。



感極まれり 言葉を止めて涙をこらえる岩井校長

3年前、新型コロナ感染拡大の影響で、学校は臨時休校期間が長く続きました。入学式が行われたのは6月2日。蜜を避けるためにクラスごとに式を8回挙りました。本日、念願叶い、保護者列席のもと一堂に会しての卒業式を挙行することができました。



「在校生代表送辞」生徒会長 鈴木玲翔(2年)さん

「今後、先輩方が決断したその道のりには様々な障害や壁があるかもしれませんが、先輩方ならここ仙台高校で培った知識や経験を生かし、必ず乗り越えていけると私達は信じています。どうかそれぞれの新しい場所で自分の可能性を信じ、歩み続けてください。」



「卒業生代表答辞」前生徒会長 佐藤秀昭さん

「三年間、時には厳しく、時には優しく導いてくださった先生方。先生方にはたくさんのご心配とご迷惑をおかけしました。何度も叱られましたが、私達を正しい道に進ませようという強い思いが伝わってきました。三年間ここまで成長できたのは先生方のおかげです。ありがとうございました。そして、18年間どんなときも支えてくれた家族に心から感謝しています。毎日大変なのに、お弁当を作ってもらったり、送り迎えをしてもらったり、私を産んでくれなかったら、支えてくれなかったら、今の私はありません。18年間育ててくれてありがとう。必ず親孝行します。3年生の皆さん、これまで私たちはたくさんの人々に支えてもらってきました。そして今、いよいよお別れの時です。これから私たちはそれぞれの道へ旅立ちます。その道には多くの困難が待ち受けていると思いますが、この三年間の様々な経験や思い出を糧に、止まることなく前に進み続けていきます。国見の丘にそびえ立つ仙台高校。ここで結ばれた私たちの心がこれから先もどこへ行っても繋がっていることを信じ、勇気を持って歩み出します。」



◆父母教師会(PTA)会長のことば 卒業式では和泉恭子様から卒業生や保護者、教職員に向けてお言葉をいただきました。

◆保護者の皆様、お子様が立派に成長し今日のこの日を迎えましたことを心よりお慶び申し上げます。◆3年前に行われた入学式は6月にクラスごとに行われました。長引く休校で勉強や学校生活に不安を感じる中、真剣なまなざしで式に参加する生徒、そして希望に満ちた誓いの言葉を聞いて、私たち大人は皆さんの力になりたい、そして充実した学校生活を送ってほしいと願いました。そして本日卒業を迎える皆さんは、いま三年間の高校生活を振り返っていると思います。勉強や部活動、学校行事において先生方や友人と一緒に味わった達成感や喜びはきっとこれからの人生において宝物となることでしょう。(一部抜粋)



別れを惜しむ～卒業生はクラスごとに記念写真撮影を行った後、多くの保護者に見守っていただきながら、最後のホームルームに参加しました。クラスでは、担任・副担任から一人一人卒業証書が手渡されました。担任からの贈る言葉を胸に沢山の思い出の詰まった学び舎に別れを告げました。



◆「同窓会入会式」を行いました。 2月28日、3年生は同窓会入会式に参加しました。初めに、同窓会長の加藤吉男様から歓迎の挨拶がありました。その後、同窓会から記念品(卒業証書ホルダー)が贈呈されました。新会員となった今野朝日さんから入会にあたっての誓いが述べられました。

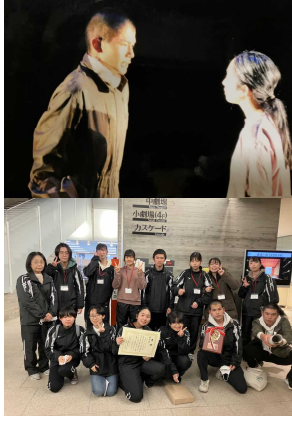


以下、同窓会長の歓迎の挨拶より(一部を抜粋しました。)冒頭、本校の歴史・変遷に触れながら、◆コロナ禍という大変制約の多い環境だったと思います。しかしその中であつても3年間充実した学生生活を送ったのではないのでしょうか。クラス毎の研修旅行や仙高祭、体育祭など『仙高の風』を通して感じておりました。◆皆さんのこの3年間は、ご両親や先生方に支えられて過ごしてきたと思いますが、これからは自分の夢や希望に向かって歩き出す時期になりました。自主自立の精神を胸に秘め、歩き始めてください。迷ったり悩んだりしたら同級生に相談してみてください。時には国見や校歌を思い出してください。それは、世代を超え二万有余の同窓生と皆さんをつなぐ絆でもあります。



↑ 新幹事団

◆演劇部、東北大会報告(福島県いわき市)



演劇部顧問から以下のような報告がありました。「結果は優良賞で、上位入賞はなりませんでしたが、1年生の高橋元希さん(軟式野球部員)が代役として出演し、ノームスで活躍してくれました。皆さん沢山の応援ありがとうございました。」

◆1年間を振り返りました。「今年度掲げた目標は?」「自身最も成長したと思うところは?」「来年度の目標や抱負を教えてください。」



高橋元希さん(1年) ◆「無病息災」。穏やかな高校生活を送る上で、元気な姿をクラスメイトに見せ続けることが重要だと考えました。◆部活動(演劇部から軟式野球部に転部)を通して、物事に積極的になることができました。◆部活動により力を入れ、大会でよい成績をとることができるよう頑張りたい。
開地遙花さん(2年) ◆「何事も全力で取り組む。充実した生活にする。」◆1年次の時より上手く勉強と部活動(バドミントン部)を両立させて、副委員長(鷗鷹(生徒会誌)委員会)など積極的に自ら動けるようになったところです。◆受験生かつ最高学年になるので、先輩らしく後輩にカッコイイ姿を見せ、もっと勉強に励んで最後の仙台高校生活を楽しみたいです。

◆仙台高校「基金留学」、12名が参加しました。 3月4日から2泊3日の日程で、1・2年生、12名が語学研修に参加しました。今年度も海外渡航が難しいため、昨年同様に、プリティシユルズでの研修となりましたが、「パスポートのいらない英国留学」というキャッチコピー通り、福島県のプリティシユルズは英国の風景・文化・風俗を忠実に再現した語学研修施設で、国内にいながら英語学習や文化体験活動ができる素晴らしい施設です。生徒は様々なアクティビティーに参加したり、食事の時間などを通して多くの学びを得て帰ってきました。



ご支援いただいた仙高教育振興会に感謝いたします。

◆令和4年度第3回理事会開催

3月17日、留学生派遣事業等の各種助成事業について話し合う教育振興会理事会が開催されました。会の中で、本年度大変有意義だったプリティシユルズでの語学研修の報告がなされ、次年度も同企画での基金留学計画を進めていくことが認められました。



◆マナーアップ運動を行いました。3月14日、交通安全対策委員の生徒が、学校周辺の通学路に立ち、朝のあいさつと登下校時のマナーアップを呼びかけました。



◆2学年「認知症サポーター講座」を受講

3月17日、2年生はフェニックス・プラン(キャリア教育)の一環として、認知症サポーター講座に参加しました。講師は社会福祉法人東北福祉会 せんだんの里 佐々木園恵様をお願いいたしました。「認知症の理解」と題して、「認知症を正しく理解して偏見をもたない」や、「認知症の人や家族を温かい目で見守ることが大切です」など、具体例をもとに、丁寧に分かりやすく指導いただきました。参加した生徒は次のように感想を述べました。◆今後も自分の身の回りの人間、例えば親や祖父が認知症になってしまったときに、自分の気持ちだけで行動せず、その人の心の不安や孤独に寄り添って、少しでも助けてあげられるようにしたいです。今、身の回りに認知症の人がいなくても、いつかそのような人に出会ったときに、自分に何ができるのかを考えられるようにしていきたいと思います。
1.驚かせない 2.急がせない 3.自尊心を傷つけない! 千葉ゆりさん(2年)



◆冬季写真撮影大会で特別賞受賞



令和4年度宮城県高等学校冬季写真撮影大会で、加藤稔晴さん(2年)が「審査員特別賞」を受賞しました。ストープ列車に乗り、居合わせた方にモデルを依頼しました。

←審査員特別賞:作品タイトル「慣れないモデル」

◆卒業生体験談・学問別ガイダンス開催。 3月20日、



1・2年生は、この春大学進学する卒業生6名から、進路決定までのプロセスや学習の進め方などについての体験談を聞きました。また、12の大学から講師の先生をお招きし、学問別ガイダンスに参加しました。生徒たちは「経済学系」「情報系」「医療系」など12講座の中から、興味関心の高い講座を選び受講しました。

◆関西大学と高大連携、「SDGs」を共に学び進めていきます!

この度、仙台高校は関西大学SDGsパートナー制度のパートナーとして登録されることになりました。これからは関西大学が主催するSDGsプログラムへの参加や、本校生徒による「東北・宮城・仙台」のSDGsに関する発信等を行います。世界の諸課題に生徒たちが自分事化して行動していきます。

HPより

KANSAI UNIVERSITY 関西大学

関西大学 × SDGs 私たちは活動する

HOME > ニュース・イベント > 仙台市立仙台高等学校が関西大学SDGsパートナー制度に登録

2023年02月17日 2023.02